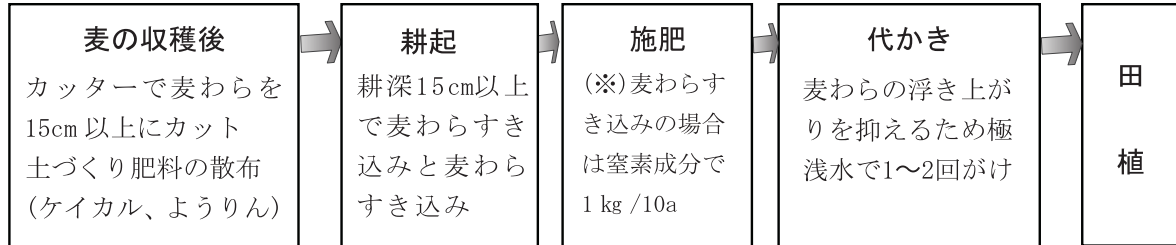


麦跡水稻の栽培ポイント

1. 田植えまでの作業ポイント



水もち及び除草剤の効果向上のため、代かきはスピードを落とし丁寧に行いましょう。

(※) 麦わらすき込み開始後3年間は、わらの分解促進のため窒素成分を増肥します。

○品種別の基肥施肥量

品種名	肥料名 (例)	基肥施用量 (kg/10a)	備 考
あさひの夢	BBあさひの夢専用222 (12-12-12)	50~60	追肥(穂肥)を省略でき、良食味生産に適します。
とちぎの星	BBとちぎの星専用ひとふりくん (12-12-12)	35~40	追肥(穂肥)を省略でき、良食味生産に適します。とちぎの星の生育に合わせ、緩効性成分の溶出が早い肥料です。倒伏が見られる圃場ではあさひの夢より施肥量を減らしましょう。
コシヒカリ	ひとふりくんプレミアム2号 (5-14-14)	40	基肥、穂肥に加え、土づくり肥料である苦土を3%、ケイ酸を10%含むので、省力的で良食味生産に適します。
	BB-F850 (基肥専用) (8-25-20)	20	窒素成分が抑えめで、りん酸、加里が多く良食味生産に適します。また、鉄分を含み土壌中の有害ガスから根を守ります。追肥はBB-NK-202を10kg程度施用しましょう。
新規需要米 (飼料用米)	BBあさひの夢専用222 (12-12-12)	60	追肥(穂肥)を省略できます。
	BB飼料米専用211 (20-10-10)	25~35	追肥(穂肥)を省略できます。土壌診断に基づき、りん酸・加里が十分な圃場で使用して下さい。1袋15kgなので施用量に注意して下さい。

(圃場の地力によって増減をして下さい。)

2. 箱施用剤を使用した効率的な防除

近年、コシヒカリなど耐病性でない品種ではイネ縞葉枯病(ゆうれい病)の発生が増加しています。本病を媒介するヒメトビウンカの防除には、フェルテラチェス箱粒剤・ワンリードSP箱粒剤・ルーチンアドスピノ箱粒剤等の薬剤を使用しましょう。

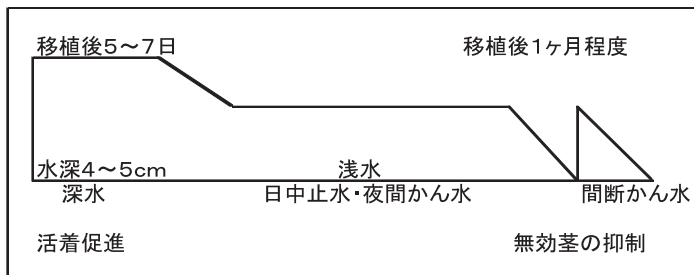
いもち病などの生育前半の病害虫防除のため、ルーチンアドスピノ箱粒剤等を使用しましょう。

(裏面あり)

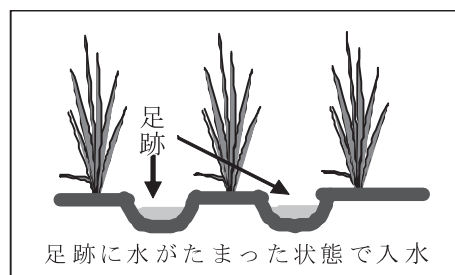
3. 水管理のポイント

- (1) 田植後5～7日までは、5cm程度の深水で活着を促進します。その後は浅水管理にします。
- (2) 田植後1ヶ月程度で必要茎数（1株当たり20本程度）が確保できたら間断かん水を行きましょう。
- (3) 麦わらすき込み後にガスが発生した場合は、早めに（田植後25日頃から）間断かん水に切り替えてガス抜きを行って下さい。

○水管理のイメージ



○間断かん水の方法



4. 水田除草のポイント

除草剤の効果を安定させるため、散布後1週間は落水してはいけません。（止水管理）。

ホタルイヤクログワイが残った時は、ハイカット粒剤、テッケン1キロ粒剤（湛水散布）またはアトトリ粒剤1キロも有効です。

ノビエが残った時は、クリンチャー1キロ粒剤・クリンチャーEWまたは、レブラス1キロ粒剤いずれかの薬剤を散布します。

※ 農薬はラベルの表示を確認して正しく使用してください。

※ 雑草の生育が進むと除草剤の効果が劣ります。発生初期に防除しましょう。

麦わらの有効的な処理について

JA足利では、麦わらの適正な処理として圃場へのすき込みを推奨しています。麦わらすき込みの実施は圃場の地力増進に効果的です。また、焼却はしないようにしましょう。

1、すき込みのポイント

- ① コンバインカッターで40cmにカットし、圃場に均一に拡げます。
- ② トラクターのスピードを落として深耕してください。
- ③ 代かきは土が見えるくらいの極浅水で行い、麦わらを圃場によく混ぜ込みます。

2、施肥と田植後の管理

わらの分解を促進するため、すき込み開始後3年間は、10a当り窒素成分で1kg程度肥料を増肥しましょう。但し、コシヒカリなどは倒伏の恐れがありますから増肥はしません。